

<2016 年度修学旅行研究会開催報告>

日 時:2016 年 11 月 16 日(木)

場 所:名古屋市都市センター会議室

発表校:安城市立安祥中学校

テーマ:「人・自然にふれる修学旅行」ー 伊豆、今井浜での活動を通して ー

【修学旅行のねらい】

本校の現職教育では「学級力」を高めることを追究し、常に人とのつながりを意識して授業実践を進めている。本年度は人と人との心のつながりを意識させたいと考え「ありがとうのあふれる安祥中～中学校生活のよい思い出をつくろう～」を合言葉にした。行事や生徒会活動、日常生活を通して、人とのつながりを大切にし、感謝の思いを育む活動を推進している。修学旅行でも様々な人・もの・伝統に触れ、そして深くかかわる活動を通して、生徒の心を成長させることをねらいとしている。伊豆今井浜での民宿分泊は、平成7年度より始め、21年間続いている伝統行事である。

【伊豆でより深くふれあうために】

(1)より民宿の方と深くふれあうために

分泊するグループごとに写真を撮り、そこに一人一人の名前とメッセージを添えて事前に民宿に送った。さらに民宿で交流する時間(ふれあいタイム)に何をするのかグループで話し合い、代表者が民宿の方と電話で相談することで、ふれあいタイムを充実させようと考えた。

(2)「出会いの会」と「別れの会」を計画

修学旅行実行委員会において、による民宿の方との「出会いの会」、「別れの会」を計画した。今年度は、出会いの会では、民宿で楽しみにしていることを生徒がスピーチした。別れの会では、宿泊した生徒が民宿の方を囲んで感謝の意を伝えた。

(3)伊豆の自然とより深くふれあうために

伊豆でしかできない体験を1つ選んだ。また、全員共通体験として、伝統である「アジの開き」作りを続けている。

【修学旅行の日程】

- 1 日目 三河安城駅 → 三島駅 → 狩野川記念公園(昼食)→伊豆今井浜(7コース別の体験→ アジの開き体験出会いの会→ 民宿(ふれあいタイム))
- 2 日目 別れの会 → 横浜・東京学級別体験 → ディズニーリゾート → ホテル
- 3 日目 ホテル → 横浜・東京学級別体験 → 品川 → 三河安城駅

【伊豆今井浜での活動】 伊豆の自然とのふれあい

- ・コース別体験(城ヶ崎トレッキング、土肥金山、わさび漬け、海釣り、ガニ引き・塩作り、みかん狩り・ジャム作り、ガラスアート)
- ・アジの開き体験(全生徒参加)
- ・出会いの会
- ・ふれあいタイム

・別れの会

【参加者からの意見】

- 民宿の方との交流を通して、人に対する「感謝する気持ち」が強くなった。
- 民宿の方の高齢化がすすみ、民宿の確保が難しくなっている。
- 安全性の確保から、毎年の下見と情報の共有化をしていきたい。津波対策や避難路の確認も重要である。
- 「アクティブ・ラーニング」の視点で、主体的に体験、学ぶことが大切である。
- 目的意識をもって、仲間と一緒に、社会とどう関わるか、社会の変化をとらえて実施していくことが大切である。
- 校訓・校風を大切にして3日間、ねらいを中心にすえた修学旅行を実施したい。

平成 29年度は、名古屋市立森孝中学校の事例発表を予定している。

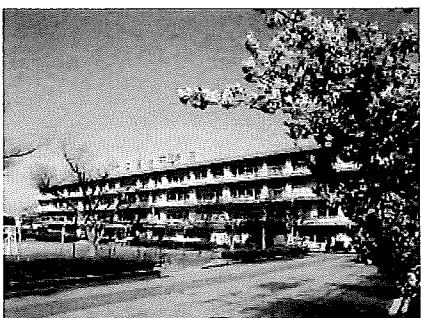
人・自然にふれる修学旅行

～伊豆、今井浜での活動を通して～

教諭 松崎 信

●学校紹介

本校は、安城南中学校の生徒数増にともない、安城市内7番目の中学校として、昭和56(1981)年に開校し、今年で36年目を迎えた。安城市の中心部に位置し、学区には、古くからある住宅地と二つの県営住宅があり、その周辺に田園が広がっている。校訓「敬愛練磨」のもと「心身共に健康で、社会性豊かなたくましい生徒」を教育目標として掲げ、活動にとりくんでいる。「修学旅行」「長距離歩行」の学年行事や「体育大会」「安祥フェスタ(文化祭)」の学校行事では、生徒実行委員を募集し、生徒が自分たちで考え行動できるようにしている。また、地域に愛される安祥中生をめざし、公民館行事、地域の祭礼など地域へのボランティア活動にも取り組んでいる。



校舎外観

School Data

【創立】昭和56(1981)年
 【教育目標】校訓「敬愛練磨」を根源として
 徳・豊かな心情をもち、社会のために尽くそう。
 知・基礎・基本をおさえ、確かな学力をつけよう。
 体・心身を鍛え、たくましい気力・体力を作ろう。
 労・感謝の心をもち、骨身を惜しまずに働こう。
 →心身ともに健康で、社会性豊かなたくましい生徒
 【全校生徒数】599人(20学級)
 【教職員数】42人

実施要項

- 行き先と時期 静岡県・東京都 平成28年5月31日～6月2日
- 実施学年と引率者数 第3学年 6学級 206名 引率者数13名
- 日程概要

【一日目】5月31日(火)
三河安城駅→三島駅→伊豆今井浜(7種類の体験活動・民宿にて分泊して人・自然とふれあう)
 【二日目】6月1日(水)
伊豆今井浜→横浜・東京学級別体験→ディズニーリゾート→ホテル
 【三日目】6月2日(木)
ホテル→横浜・東京学級別体験→品川駅→三河安城駅

1 はじめに

本校の現職教育では「学級力」を高めることを追究している。常に人とのつながりを意識して授業実践を進めている。さらに本年度は人と人との心をつなぐを意識させたいと考え「ありがたうのあふれる安祥中」中学校生活のよい思い出をつくらう」を合言葉にした。そして生徒会では、「咲かせよう 満開の花」がありがとうから始まる笑顔の「一歩」をスローガンとし、活動を推進している。行事や生徒会活動、日常生活を通して、人とのつながりを大切に、感謝の思いを育む活動を推進している。これらの活動をもとにして、修学旅行でも様々な人・もの・伝統に触れ、そして深くかかわる活動を通して、生徒の心を成長させることをねらいとしている。

2 伊豆でより深くふれあうために

(1) 民宿の方とより深くふれあうために
分泊するグループごとに写真を撮り、そこに一人ひとりの名前とメッセージを添えて事前に民宿に送った。さらに民宿で交流する時間(ふれあいタイム)に何をするかグルー

●重点を置いた活動

「伊豆の自然と人とのふれあい活動」

プで話し合い、代表者が民宿の方と電話で相談することで、ふれあいタイムを充実させようと考えた。

(2) 「出合いの会」と「別れの会」を計画
修学旅行実行委員会において、民宿の方との「出合いの会」、「別れの会」を計画した。

今年度の出合いの会では、民宿で楽しみに行っていることを生徒がスピーチした。別れの会では、宿泊した生徒が民宿の方を囲んで感謝の意を伝えた。

(3) 伊豆の自然とより深くふれあうために
生徒は、伊豆でしか体験できない自然や活動の中から体験を1つ選んだ(4(1)の内容)。

また、平成7年度より、全員共通体験として、安祥中の伝統である「アジの開き」作りを続けている。

3 伊豆での

日程

日程表

一日目	二日目
10:18 新幹線にて三島駅着	6:15 起床
10:30 貸し切りバス発	6:30 朝食
11:30 昼食(狩野川記念公園)	7:20 今井浜集合
12:20 コース別体験	7:40 別れの会 記念写真
15:45 アジの開き体験	7:40 今井浜出発
17:30 出合いの会 記念写真	8:15 貸し切りバスにて東京へ
18:00 ふれあいタイム(お風呂・食事を含む)	
22:30 就寝	

4 当日の活動

(1) 伊豆の自然とのふれあいコース別体験とアジの開き体験

①城ヶ崎トレッキング

天候もよく、きれいな海を眺めながら1時間ゆつくりと歩いた。途中の門脇灯台で休憩をしたり、最後の城ヶ崎吊り橋で写真を撮ったり伊豆の景観を楽しむことができた。

②土肥金山

足利幕府の時代から金を掘っていた話を聞いたり、展示を見学したりして歴史の古さを感じた。砂金取り体験では、なかなか見つからず苦労し、金をとることの大変さを実感した。

③わさび漬け

浄蓮の滝を見学し、その横にあるわさびの畑を見学した。わさび漬け体験では、わさびをみじん切りにし、塩を混ぜて水を出す作業を行った。初めて作る自分だけの漬物やどの生徒も大事そうに抱え、土産とすることができた。

④海釣り

民宿組合の方にコツを教えてもらい挑戦した。初めて体験した生徒も多くおり、実際に釣れた時、その感動を全身で表していた。釣れた魚は塩焼きにしてその場で食べた。

⑤カニ引き・塩作り



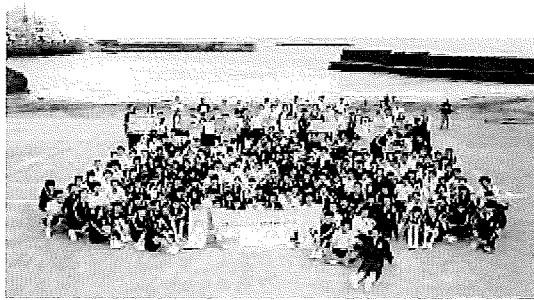
別れの会

(4) 別れの会
修学旅行実行委員会を中心に会が始まった。今年感謝の気持ちを直接民宿の方に伝えるために民宿ごと別れの時間をとった。輪になって、お札の気持ちを伝えたり、寄せ書きを渡したり、いっしょに写真を撮ったり、それぞれのグループで別れを惜しんでいた。最後は全員で写真を取り、その後民宿の方に見送りをしていたとき、バスに乗り東京へ向かった。

民宿に来たいです。
・民宿のおじさんが雑学の問題をたくさん出してきて勉強になりました。ゆつたりとした時間を民宿の方と過ごし、深くかかわることができた。



民宿の方とお別れ

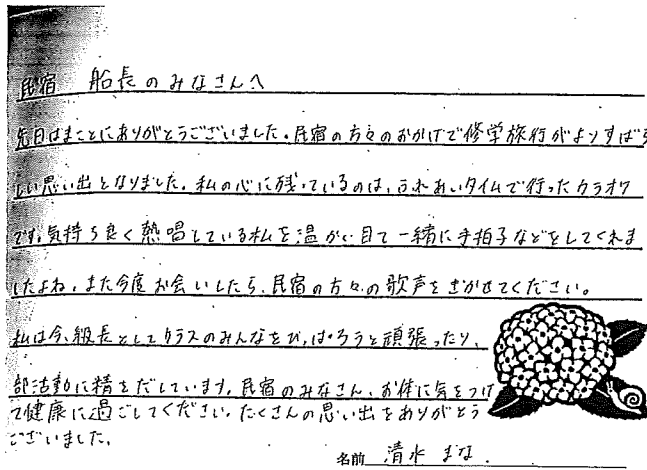


民宿の方と共に

6 終わりに

生徒は修学旅行で行った民宿の方との交流

手紙とともに別れの会の全体写真を送った。その写真は現在どの民宿の玄関にも飾られていると聞いている。過去の先輩たちの写真も飾られ、現在までの安祥中との絆が写真に残っている。

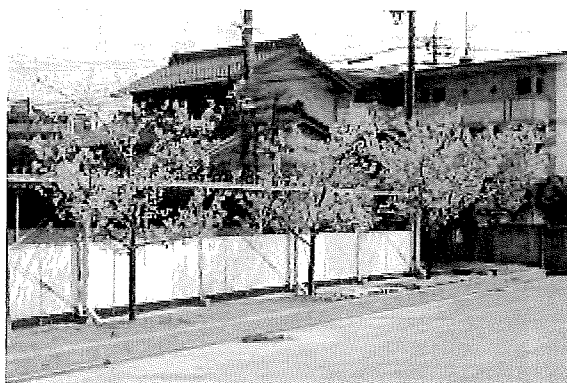


清水 まほ

5 その後のつながり

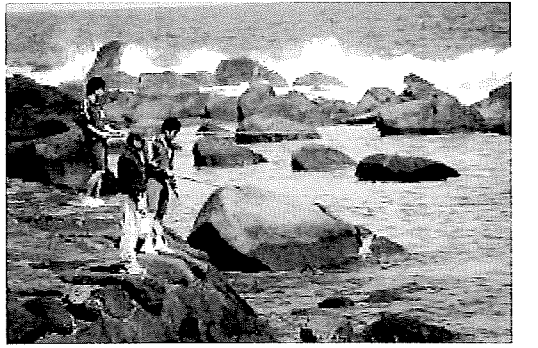
安城に戻ってから民宿の方に手紙を書いた。以下はその一つである。

を通して、人に対する「感謝する気持ち」が強くなった。この感謝する気持ちは、毎年安祥中の生徒が民宿の方にもち続けているものである。過去には、夏休みに家族と共に再訪した者もいる。
また、学校の中でも「ありがとう」の声があがっている。修学旅行によって育まれたこの思いを大切にしていきたい。
安祥中学校には、平成10年に民宿協会から送られた河津桜が正門横に植栽されている。毎年卒業式を迎える頃になると周辺どの桜よりもいち早く先に立派な花を咲かせる。生



河津桜が咲く校庭

徒は、この桜が咲くと春の訪れを実感している。21年続いたこの伝統行事は、これからも続いていくことだろう。



海釣り体験



ジャム作り体験



アジの開き体験

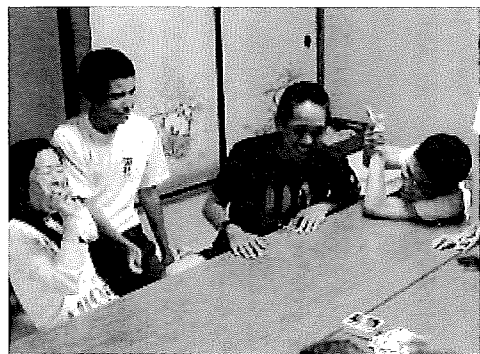


塩作り体験

カニがいる岩場に入ると、普段は生き物恐怖がっている女子も夢中になってカニを追いかけていた。民宿組合の方と用意してあった仕掛けを使ってウツボをとり、塩焼きにしてその場で食べた。また、海水を大きな鉄板で熱し、塩が出るまで混ぜ、スコップで取り出

す作業も行った。塩は土産とすることができた。
⑥みかん狩り・ジャム作り
ニューサマーオレンジという河津名物のみかんの摘み採りをした後、取ったみかんを使ってジャム作りをした。民宿協会の方と木に登り上の方にある、大きいみかんを取った。鍋をみんなで囲み、ジャムを煮詰めた。みかんやジャムは、それぞれ土産とすることができた。
⑦ガラスアート
民宿協会の方が個別に優しく教えてくださった。生徒は自分たちのオリジナルの作品を並べ、他の作品との違いを楽しんでいた。
⑧アジの開き体験(全生徒参加)
たくさんの民宿協会の方が生徒によりそい開き方を実演し、優しく教えてくださった。生徒ははじめての体験に真剣な面持ちで臨んでいた。開いたアジは、地元の水産業者によって加工され、修学旅行の最終日に三河安城駅で生徒に配られる。夕食にこのアジの開きを食べて、家族と旅行の思い出を語ったという生徒の声があった。
⑨出合いの会
出合いの会は、修学旅行実行委員会を中心に運営した。「おいしいご飯を残さず食べたい」「民宿の方と仲良くしたい」などと生徒が思いを述べた。河津町の教育長に来ていただき、河津町と安祥中のつながりについて話をしていた。最後に民宿の方にあいさつをして、いっしょに民宿へと移動した。

③ ふれあいタイム
宿に行きお風呂に入った後、食事をとった。ある班では、食事の前に戦時中の話を民宿の方にしてもらい、食べ物の大切さを教えていただいた。安祥中学校では、給食をほとんど食べ残さない生徒たちは、民宿の食事も残すことがなかった。食事の後、民宿の方とふれあいタイムを過ごした。
ふれあいタイムの内容は、民宿の方とランプ・怪談話・カラオケ・お話し・クイズなどであった。
以下は生徒の感想である。
・おじさんが南極で仕事をしていた話をしてもらい、ペンギンの剥製を見せてもらった。初めて聞いた話で面白かった。
・民宿のおじさんとおばさんとすこく仲良くなれて最後には「きいちゃん」「さとしくん」と呼ぶほどだった。またこの



ふれあいタイム